

2015年度 助成事業一覧  
1. 研究助成 採択者及び助成金額一覧

(1)新 規

No.	推薦組織・機関	氏名	所属機関・職名	研究課題	助成金額 (万円)
1	日本建築学会	鯨坂 徹	鹿児島大学学術研究院 理工学域工学系 教授 (建築設計)	パリの坂倉準三の建築資料に関する研究	100
2	日本建築学会	山名善之	東京理科大学 理工学部 教授 (建築史)	フランスにおける新たな要求性能に応える近現代建築の保存・保全方法に関する事例調査	145
3	日本建築学会	黒石いずみ	青山学院大学 総合文化政策学部 教授 (建築史)	戦中・戦後期における米国の社会住宅の技術とデザイン思想、およびにその日本への影響の研究	150
4	土木学会	川崎 了	北海道大学大学院 工学研究院 教授 (地盤環境工学)	自然に学ぶ新しい国土修復保全技術に関する基礎的研究	120
5	土木学会	武若 聡	筑波大学 システム情報系 教授 (水工学)	流域と海域を繋ぐ総合的土砂管理の実現に向けた実践的フィールド研究	118
6	土木学会	河野達仁	東北大学大学院 情報科学研究科 教授 (土木計画)	「自分は大丈夫」という心理メカニズムを組み込んだ避難行動の定量的かつ実証的解明	90
7	土木学会	藤山知加子	法政大学 デザイン工学部 准教授 (構造工学)	多方向かつ不規則振幅による風車RC基礎接合部の疲労実験	118
8	土木学会	蘇 迪	東京大学大学院 工学系研究科 特任講師 (構造工学)	遠隔振動計測によるポータブル交通荷重状態計測システムの高度化	150
9	地盤工学会	秦 吉弥	大阪大学大学院 工学研究科 助教 (地震工学)	地域特性を考慮した津波避難困難区域の抽出～強震動予測と歩行実験によるハイブリッド評価～	147
10	地盤工学会	木村祥裕	東北大学 未来科学技術共同研究センター 教授 (耐震構造)	過去の巨大地震被害調査に基づく倒壊・大破した建築物の設計余裕度と実保有性能の比較と新しい耐震構造の提案	90

No.	推薦組織・機関	氏名	所属機関・職名	研究課題	助成金額 (万円)
11	日本生態学会	齋藤 隆	北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 (動物生態学)	ランドスケープ遺伝学を用いたエゾシカ個体群管理ユニット設定手法の確立	113
12	日本火災学会	岡 泰資	横浜国立大学大学院 環境情報研究院 准教授 (火災安全工学)	矩形断面を有する通路内における熱気流性状への断面アスペクト比の影響に関する実験的研究	225
13	日本都市計画学会	松行美帆子	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 准教授 (都市計画)	開発途上国におけるモビリティの向上による貧困削減への波及範囲に関する研究—コロンビア・メデジン市におけるメトロ・カブレの事例	118
14	東京大学史料編纂所	伴瀬明美	東京大学 史料編纂所 准教授 (日本史)	東アジア諸王室における「后位」比較史の協業的研究	135
15	筑波大学	岩崎真紀	筑波大学 人文社会系 助教 (宗教学)	モロッコのアルガン油精製女性協同組合の活動にみるイスラーム的伝統に沿った持続可能な地域開発と女性のエンパワーメントに関する複合的研究	213
16	東京藝術大学	長尾 充	東京藝術大学大学院 美術研究科 教授 (文化財保存学)	近代の歴史的建造物における設備機器の設置・更新方法に関する研究	120
研究助成（新規） 計16件					2,152

## (2) 継 続

No.	推薦組織・機関	氏 名	所属機関・職名	研 究 課 題	助成金額 (万円)
1	日本建築学会	高木次郎	首都大学東京 都市環境科学研究科 准 教 授 (建築構造学)	既存WPC構造集合住宅建物の改修 補強手法の開発	143
2	日本建築学会	宮本慎宏	香 川 大 学 工 学 部 講 師 (木質構造)	壁土の材料特性を考慮した土塗壁 の耐震性能評価法の構築	120
3	日本建築学会	平山育男	長岡造形大学 造 形 学 部 教 授 (建築歴史・意匠)	J. コンドルによる濃尾地震調査と その後の影響	96
4	土木学会	川崎佑磨	立 命 館 大 学 理 工 学 部 助 教 授 (非破壊検査)	AE法を援用したゴム支承の健全度 評価法の開発と簡易的なモニタリ ング法の提案	107
5	土木学会	西尾真由子	横浜国立大学大学院 都市イノベーション 研究院 准 教 授 (構造工学)	環境因子の影響を考慮した長期橋 梁モニタリングデータからの構造 状態診断法に関する研究	100
6	土木学会	戸田祐嗣	名古屋大学大学院 工 学 研 究 科 教 授 (河川工学)	洪水営力を極力活用した河川植物 の効果的・効率的な管理手法に關 する研究	80
7	日本火災学会	水野雅之 (水上点晴 から変更)	東京理科大学大学院 国際火災科学研究科 准 教 授 (火災安全工学)	火災リスクを考慮した建築物の耐 火性能検証方法の開発	122
8	日本都市計 画 学会	樋野公宏	東京大学大学院 工学系研究科 准 教 授 (都市計画)	高経年団地の資源を活用した「居 場所」づくりの実践研究	120
9	大阪大学	松永和浩	大 阪 大 学 適塾記念センター 准 教 授 (日本史学)	森野家文書の保存と公開—歴史資 料に埋蔵される学術情報の学際的 活用のために—	80
10	早稲田大学	城倉正祥	早 稲 田 大 学 文 学 学 術 院 准 教 授 (東アジア考古学)	3Dスキャナーを用いた人物埴輪の考 古学的分析とその文化史的研究—国 指定史跡: 姫塚古墳出土埴輪を中心 として—	144
11	筑波大学	谷口陽子	筑 波 大 学 人 文 社 会 系 准 教 授 (保存科学)	世界遺産 Cappadocia・ウズムル 岩窟教会遺跡における文化遺産の 保全に関する包括的研究	135

No.	推薦組織・機関	氏名	所属機関・職名	研究課題	助成金額 (万円)
12	東京大学史料 編纂所	松方冬子	東京大学 史料編纂所 准教授 (日本近世史)	朱印船のアジア史的研究：16～17 世紀、日本往来の「国書」と外交 使節	108
研究助成（継続） 計 1 2 件					1,355

研究助成	合計 2 8 件	3,507
------	----------	-------

## 2. 研究者交流援助採択者及び援助金額一覧

### (1) 研究者海外派遣援助

No.	推薦組織・機関	氏名 所属機関・職名	研究課題	派遣先	派遣期間	援助金額 (万円)
1	東京大学 生産技術 研究所	和田健太郎 東京大学 生産技術研究所 助教	都市スケールの道路交通流特性 解析とそれに基づく交通マネジ メント	アメリカ (カリフォル ニア大学)	2016.09.01 ～ 2017.08.31 (365)  (長期)	331
2	北海道大学大学院 工学研究院	福山智子 北海道大学大学院 工学研究院 助教	鉄筋コンクリートの交流イン ピーダンス測定におけるコンク リート微細構造の影響	アメリカ (ワシントン 大学)	2016.08.01 ～ 2017.07.31 (365)  (長期)	331
3	東京理科大学 理工学部	仲吉信人 東京理科大学 理工学部 講師	都市の温熱ビッグデータを同化 可能な数値気象モデルの開発	イギリス (レディング 大学)	2016.08.20 ～ 2017.08.19 (365)  (長期)	331
					長期派遣 計 3件	993

研究者交流援助 合計 3件

993

### 3. 国際学術交流援助（国際研究集会援助）一覧

No.	会 議 名	期 間	開催地	申 請 者	援助 金額 (万円)
1	国際フォーラム:「日本研究」の 新しいパラダイムを求めて	15. 7. 18	東京 (早稲田大)	実行委員長 早稲田大学社会科学総合学院 教授 劉 潔	50
2	第4回東アジア法社会学会議	15. 8. 4 ～ 8. 6	東京 (早稲田大)	実行委員長 青山学院大学大学院法務研究科 教授 宮澤 節生	50
3	第9回国際非営利組織学会 (ISTR) アジア太平洋地域研究大会	15. 8. 27 ～ 8. 28	東京	組織委員長 日本大学法学部 教授 稲葉 陽二	50
4	第20回電磁非破壊評価に関する 国際ワークショップ	15. 9. 21 ～ 9. 23	仙台市	実行委員長 東北大学大学院工学研究科 准教授 遊佐 訓孝	50
5	第17回レーザー応用プラズマ計 測国際シンポジウム	15. 9. 27 ～ 10. 1	札幌市	組織委員長 北海道大学大学院工学研究院 教授 佐々木 浩一	50
6	アジアオセアニア国際火災科学 技術シンポジウム	15. 10. 5 ～ 10. 7	つくば市	実行委員長 (独法)建築研究所 防火研究グループ長 萩原 一郎	50
7	第3回計算力学分野の進展に関す る国際ワークショップ	15. 10. 12 ～ 10. 14	東京	実行委員長 筑波大学システム情報系 教授 磯部 大吾郎	50
8	東アジアにおけるレジリエント でサステナブルな都市・建築環境 の実現に関する国際セミナー	15. 11. 4 ～ 11. 6	仙台市 (東北大)	実行委員長 東北大学大学院工学研究科 教授 持田 灯	50
9	第9回地盤沈下に関する国際シン ポジウム (NISOLS)	15. 11. 15 ～ 11. 19	名古屋市	実行委員長 大同大学情報学部 教授 大東 憲二	50
10	第4回国際ベンガル学会	15. 12. 12 ～ 12. 13	東京 (東京外語大)	実行委員長 東京外国語大学大学院 総合国際学研究院 特任教授 谷口 晋吉	50
国際研究集会援助 合計 10件					500